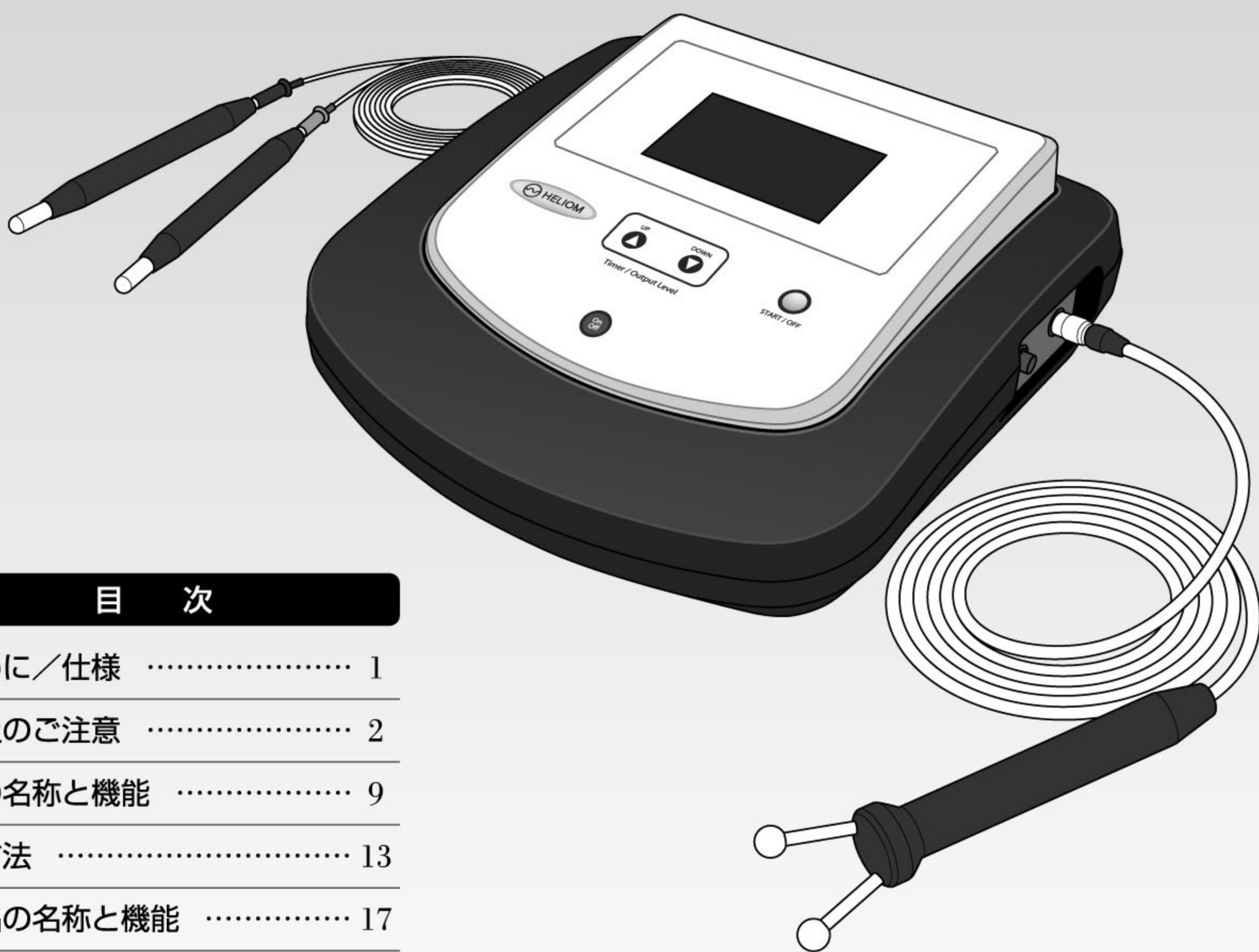




HELIOM

ヘリオム

取扱説明書



目次

はじめに／仕様	1
安全上のご注意	2
装置の名称と機能	9
使用方法	13
付属品の名称と機能	17
点検事項	18
故障かなと思ったら	19
清掃方法／消毒方法	20
使用期限について	20
廃棄について	20

はじめに

この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。
機能を十分に理解し、正しく安全にお使いいただけるように、
この取扱説明書を必ずお読みください。



■仕様

電源	機器全体 : AC100V 0.72A 50/60Hz	
	アダプタ : MPU64-105-M610	
	◎定格入力	◎出力
	AC100V-240V 1.62-0.72A 47-63Hz	DC12V 5.25A max
機器本体	◎定格入力	
	DC12V $\overline{\text{---}}$ 2.6A 1.9A(rms) / 1.1A(rms)	
寸法(本体)	幅300×高さ120×奥行300mm	
重量(本体)	1.8kg	

■出力仕様

出力電流(ピーク値)	7.5mA MAX(2400 Ω 負荷時)
出力電圧(ピーク値)	\pm 18V(2400 Ω 負荷時)
パルス幅	950 μ s~350ms(プログラムにより変動)
パルス繰返し周波数	0.25~100Hz(プログラムにより変動)
出力波形	正弦波出力
直流成分	なし
タイマー	1~30分
使用周囲温度	0 $^{\circ}$ C~40 $^{\circ}$ C

■安全性能

安全装置	ゼロスタート方式
	二重絶縁・強化絶縁による外来ノイズ対策
	過電流保護用抵抗器
	過電流時電圧低下検出機能
	過渡動作時自動初期化機能

■輸送及び保存場所の環境条件

温度	-10 $^{\circ}$ C~50 $^{\circ}$ C
湿度	10%~90%
気圧	700hPa~1060hPa

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。



危険

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です)



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」です。

警告

1. 機器を設置するときには次の事項に注意すること。

- ①水のかからない場所に設置すること。
- ②気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、硫黄分などを含んだ空気などによる悪影響の生ずるおそれのない場所に設置すること。
- ③傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意すること。
- ④電撃の危険を回避するために、保護接地を備えた電源(商用)に接続すること。
- ⑤ACアダプタの電源は交流(AC)100V 50/60Hzを使うこと。
 - ・指定外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因になります。
 - ・プラグは完全に差し込んで下さい。
- ⑥本機を使用する際には、専用のACアダプタ(MPU64-105-M610)を使用すること。
- ⑦アースが完全に接続されていることを確認すること。
- ⑧抜き差しは電源プラグを持つこと。
 - ・コードを引っ張るとコードが傷ついたり、ちぎれたりし火災や感電の原因になることがあります。
- ⑨機器を落下・転倒を避けるためにコードの長さには十分注意すること。



強制

2. 機器を使用する前に次の事項に注意すること。

- ①スイッチの接触状況、出力、モード設定の点検を行い、機器が正しく動作することを確認すること。
- ②患者に直接接続する外部回路を点検すること。

3. 機器の使用中は次の事項に注意すること。

- ①機器及び患者に異常が発見された場合には患者に安全な状態で機器を停止させるなど適切な処置を講ずること。
- ②煙や異臭、異音が出たり破損した時は使用を中止すること。
- ③導子の接触面積が少ない場合(およそ 2cm^2 以下)は特に注意すること。

警告

4. 機器の使用後は次の事項に注意すること。

- ①定められた手順により導子等を取り外してその後、電源を切ること。
- ②保管場所などについては、次の事項に注意すること。
 - a) 水のかからない場所に保管すること。
 - b) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、塩分、硫黄分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれの無い場所に保管すること。
 - c) 傾斜、振動、衝撃など安定状態に注意すること。
 - d) 化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に保管しないこと。

5. 故障したときは次の事項に注意すること。

- ①故障したときはただちに適切な表示を行い、修理は専門家に任せること。
- ②故障した機器は分解、改造しないこと。
 - a) 機器が故障し感電やけがの原因になる他、金属物が入るとやけどや火災の原因になります。
 - b) 分解が必要な点検、修理は販売店または弊社へ直接ご依頼ください。



6. 潜在的危険に注意すること。

- ①重度の局所循環障害をもつ患者の当該部位への適用は、専門医の医学的知見を必要とすること。
- ②温覚が鈍いなど知覚障害のある患者の当該治療部位には適用しないこと。
- ③植込み形電子装置(ペースメーカー等)・生命維持用医用電気機器(人工心肺等)・装着形医用電気機器(心電計等)を装着した患者治療部位への適用について使用前に専門医の医学的知見が得られない場合には適用しないこと。
- ④胸部に金属を埋め込んでいる患者に、治療部位への適用について使用前に専門医の医学的知見が得られない場合には適用しないこと。
- ⑤頭部を交差もしくは通過するように通電したり、直接目・口・頸部の前面に当てたり、胸郭と背中上部で挟む又は心臓を横切るように電極を配置しないこと。
- ⑥異常に対し意思表示ができない患者には必ず保護者が必要とすること。

警告

1. 十分に機器の性能・構造・使用方法等を熟知した者以外は機器を使用しないこと。

2. 機器を設置するときには次の事項に注意すること。

- ①高温多湿の場所に設置しないこと。
- ②化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に設置しないこと。
- ③お子様の手の届く場所に設置しないこと。
- ④電源の周波数と電圧及び許可電流値(又は消費電力)に注意すること。
- ⑤コードを加工したり、無理な力を加えたりしないこと。
 - ・コードが傷つき火災や感電の原因になります。
 - ・芯線が露出するなどコードが傷んだ場合は、使用を中止し販売店にご相談ください。
- ⑥コンセントや配線器具の定格容量を超える使い方はしないこと。
- ⑦導子の端子部を高温・低温な物に長時間接触させないこと。
- ⑧メインスイッチの操作の妨げになる場所に装置を設置しないこと。



3. 機器を使用する前に次の事項に注意すること。

- ①プラグにほこりや汚れが付いた状態で使用しないこと。
 - ・電源がほこりや汚れを伝わり火災や感電の原因になります。
- ②しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作するか確認すること

4. 機器の使用中は次の事項に注意すること。

- ①雷が鳴ったら電源プラグや機器の金属部分に触れないこと。
- ②操作者が導子接続部と患者に同時に接触しないこと。
 - ・電撃発生時、感電の原因になります。

5. 機器の使用後は次の事項に注意すること。

- ①コード類の取り外しに際しては、コードを持って引き抜くなどの無理な力をかけないこと。

警告

6. 機器は分解、改造しないこと。

- ・機器が故障し感電やけがの原因になる他、金属物が入るとやけどや火災の原因になります。
- ・分解が必要な点検、修理は販売店または弊社へ直接ご依頼下さい。

7. 次のような方及び部位には使用しないこと。

- ・妊婦の腹部、腰仙部、骨盤領域
- ・乳幼児及び心臓疾患(ペースメーカー)の方
- ・悪性新生物は医師の指示のもと使用してください
- ・目・口中など電気抵抗値が著しく低い部位
- ・頸部の前面(頸動脈洞領域)
- ・静脈や動脈の血栓症または血栓性静脈炎の領域の近く
- ・皮膚が過敏、損傷、病変がある領域
- ・心臓病の病歴がある患者の胸部
- ・胸部金属植込み患者の胸部
- ・循環血液量増大によって悪化する状態
- ・脳血管障害やてんかん発作の病歴をもつ患者の頭蓋顔面領域や頸部
- ・感覚が損なわれている領域
- ・出血や血腫が起こりやすい組織または月経時の腹部
- ・急性損傷や急性炎症のある部位
- ・頭部を交差、または通過する配置
- ・心臓や胸郭と背中上部を横切る配置
- ・有熱性疾患
- ・急性炎症
- ・化膿性疾患
- ・温覚障害や皮膚疾患のある人
- ・乳・幼児、意思表示ができない人
- ・血流障害の可能性のある人
- ・その他医師が不相当と判断した人



8. 体外使用に限る。 使用中に気分が悪くなったり、使用後に皮膚がかぶれたりした場合には使用を中止すること。

9. 機器や導子又はコードなどに強い衝撃を与えないこと。

10. 他の機器の部品や付属品などを流用しないこと。

警告

1. 機器を使用する前に次の事項に注意すること。

- ①機器の併用は正確な診断を誤らせたり、危険を起こすおそれがあるので十分に注意すること。
- ②電源を確認すること。
- ③消耗品や導子関連の劣化・汚れ・消耗が問題ないかを確認すること。

2. 機器の使用中は次の事項に注意すること。

- ①治療に必要な時間量を超えないように注意すること。
- ②機器全般及び患者に異常の無いことを絶えず監視すること。
- ③機器に患者が触れることの無いよう注意すること。

3. 機器の使用後は次の事項に注意すること。

- ①付属品、コード、導子などは清潔した後、整理してまとめておくこと。
- ②機器は次回の使用に支障の無いよう、必ず清掃しておくこと。



4. 潜在的危険に注意すること。

- ①超短波治療器、マイクロ波治療器、電気メスなどの強力な電磁波を放出する装置、強力な磁力線を放出する装置、又はX線を放出する装置、その他の悪影響を与える装置との近接した操作(例えば1m程度の距離)は、機器の制御を不安定にする為注意すること。
- ②長時間の同一部位への適用は、低温やけど・炎症の原因となる為、注意すること。
- ③損傷部位への接触により悪化や出血のおそれがあるため注意すること。
- ④接触状態に意図しない通電が起こることがあるため注意すること。
- ⑤通電を伴う導子や劣化した導子により過敏にアレルギー反応が起こる可能性があるため注意すること。
- ⑥汗や汚れ、消毒剤の残りなどによる化学反応がまれにアレルギー反応を起こす可能性があるため消毒・清掃を忘れないように注意すること。
- ⑦その他の病気の治療中や服薬中の患者に対しては、専門医の医学的知見を必要とすること。

注意



強制

1. 抜き差しは電源プラグを持つこと。

- ・コードを引っ張るとコードが傷ついたり、ちぎれたりし火災や感電の原因になることがあります。

2. 長時間使用しないときは、安全のためコンセントから電源プラグを抜いておくこと。

3. 保守点検を行なうこと。

- ①機器及び商品は必ず定期点検を行なうこと。
- ②しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作するか確認すること。



禁止

1. 異常に温度が高くなるところに置かないこと。

- ・機器表面や部品が劣化する他、火災の原因になることがあります。
- ・直射日光の当たるところに長時間置いたり、ストーブの近くに置いたりしないでください。

2. 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと。

- ・感電するおそれがあります。



注意

1. 顔などの神経が細かい部位へ使用する際は出力・時間などに注意すること。

2. 使用後は必ず装着部を清潔にしておくこと。

3. メーカーの供給する専用端子及び メーカーの承認した付属品のみを用いること。

4. 伝染性疾患の患者は機器を介して 他の患者に感染する可能性があるので注意すること。

装置の名称と機能

本体(前面)



① 電源ボタン

本体背面のメインスイッチをONにしてから入れる。

② 操作画面 ※P11~16参照

③ 「Timer/Output Level」ボタン

プログラムの時間と出力レベルを設定します。

④ 「START/OFF」ボタン

プログラムを開始・停止します。

⑤ 低周波導子接続用ジャック (緑：4芯)

⑥ メインスイッチ

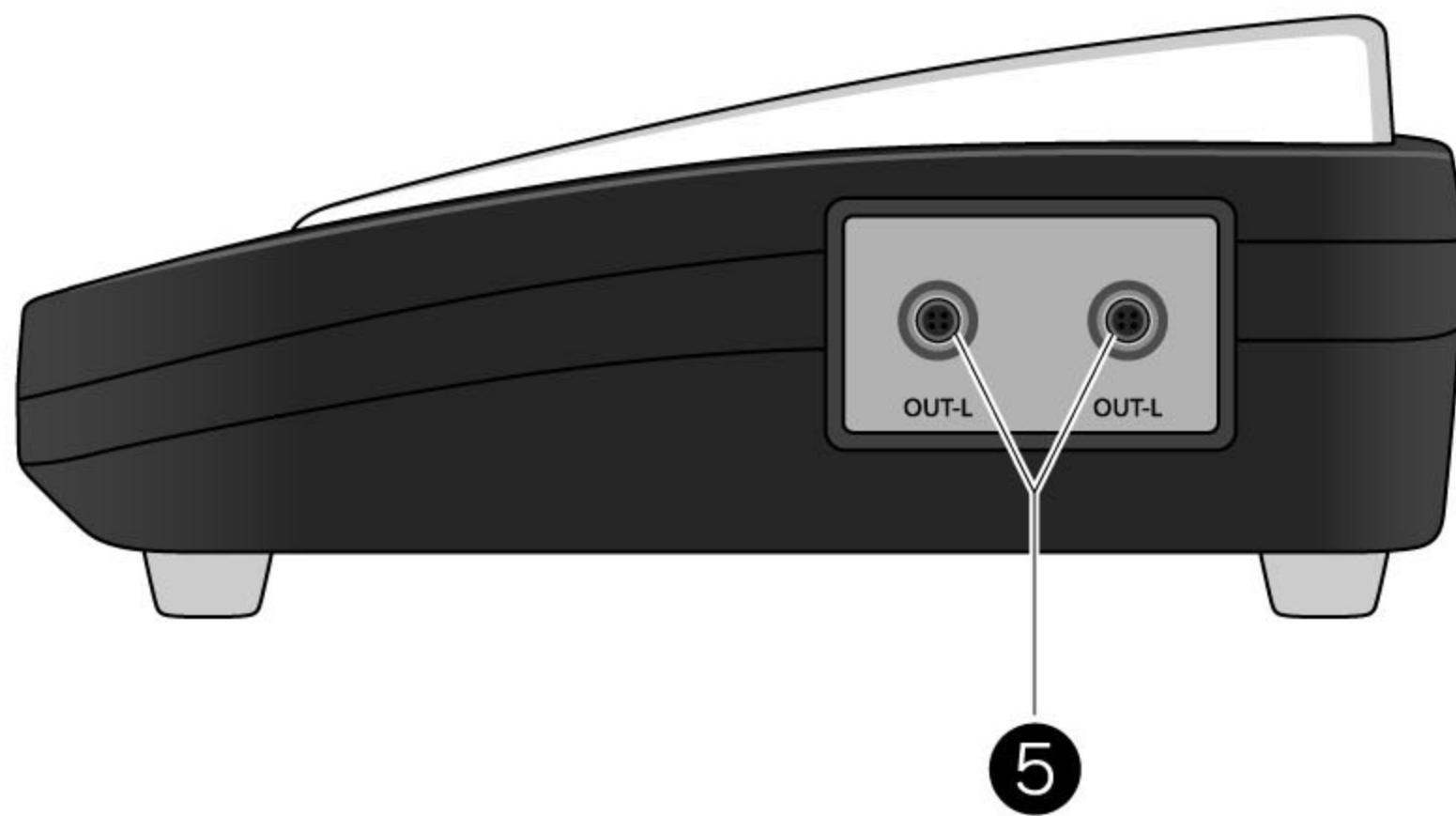
⑦ DC ジャック

※プログラムの時間と出力レベルの設定、
プログラムの開始・停止は操作画面内でも行えます。

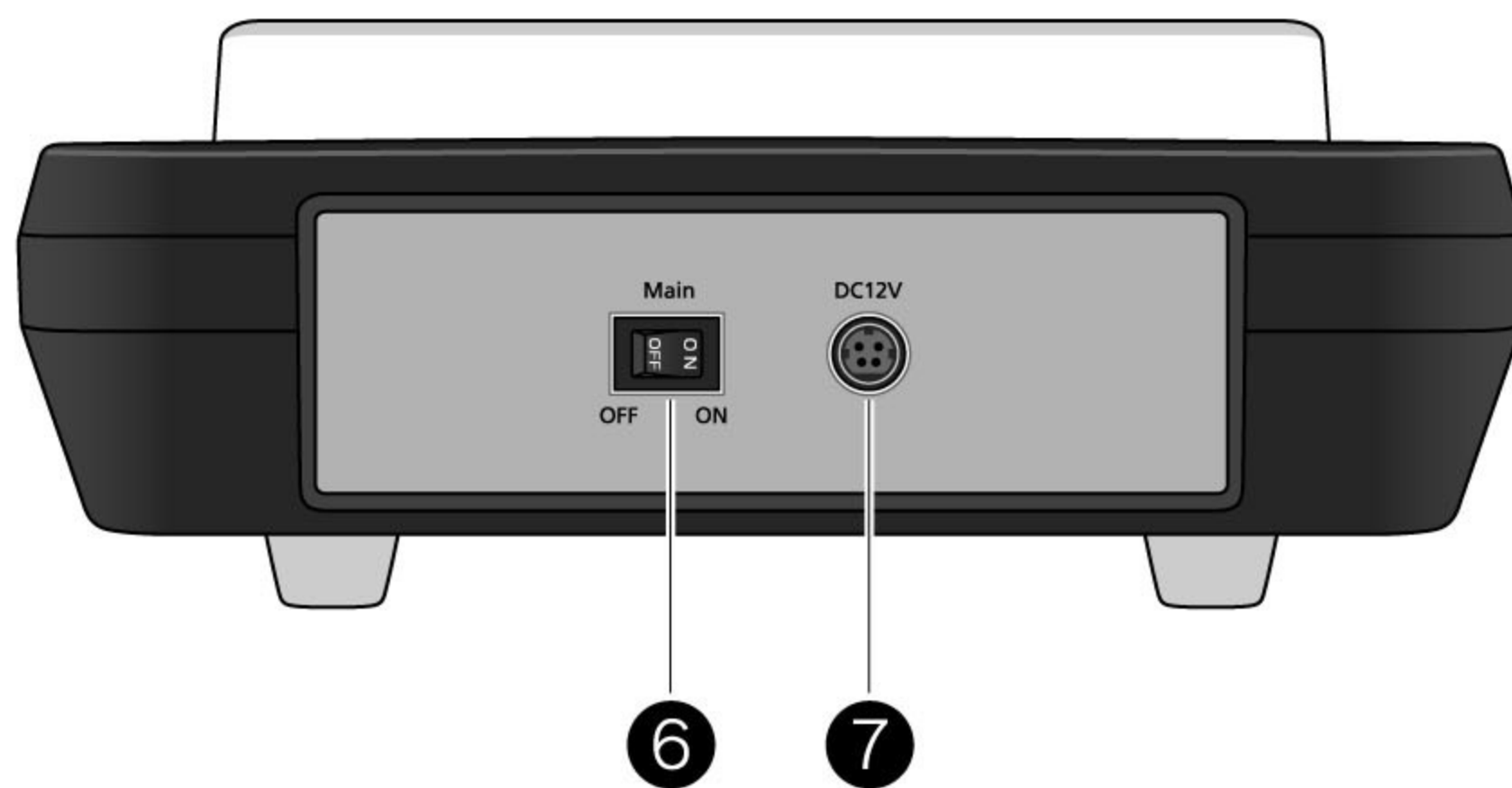


自動OFF機能：20分間ボタン操作がないと自動で電源がOFFになります。

本体(側面)



本体(側面)



操作画面

モード選択画面



- ① 「Facial モード」 ボタン
- ② 「Skincare モード」 ボタン
- ③ 「Head モード」 ボタン
- ④ 「Body モード」 ボタン
- ⑤ 「Diet モード」 ボタン
- ⑥ 「Another モード」 ボタン

プログラム画面

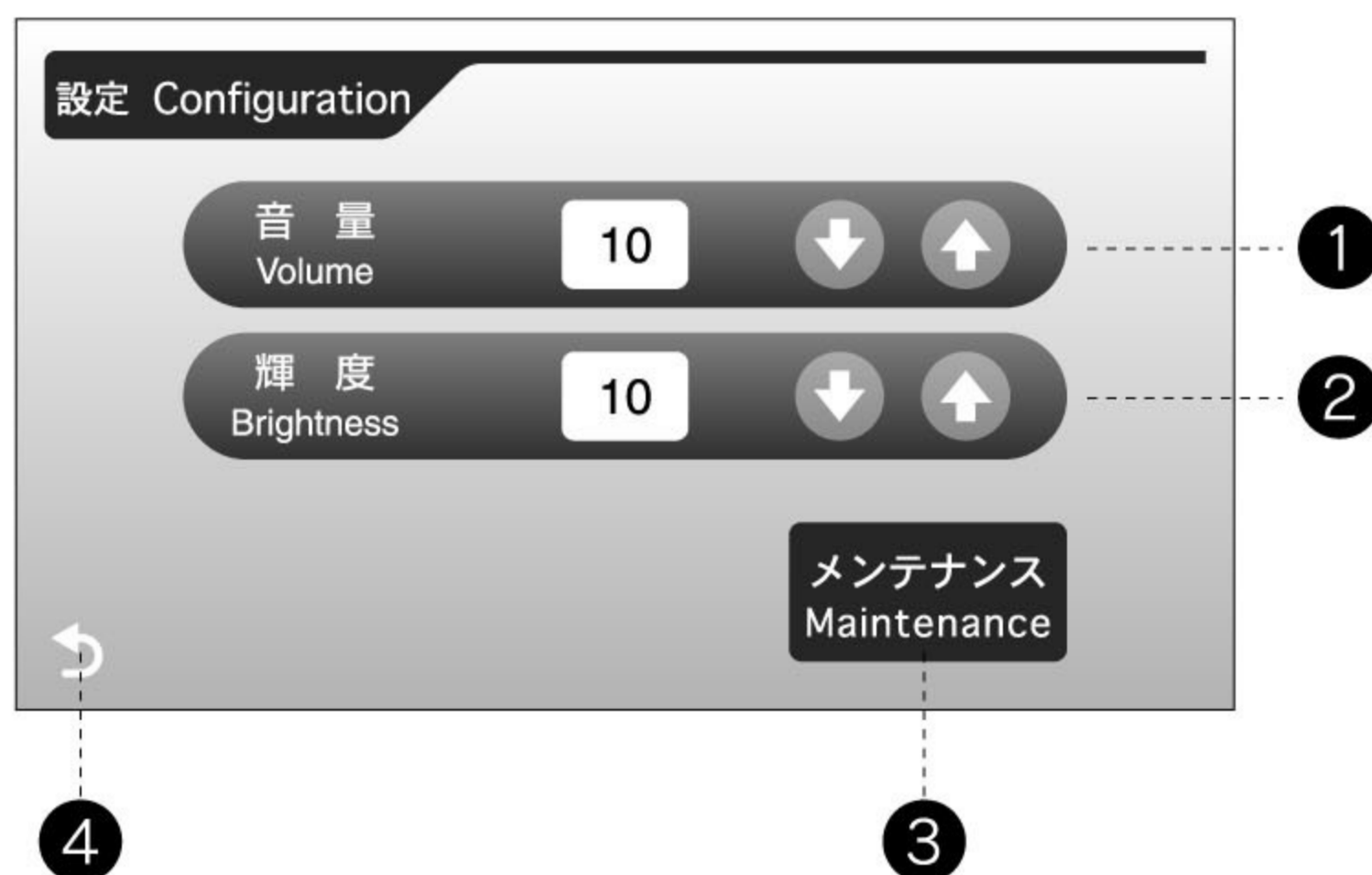


「START」ボタンを押すと「動作画面」に移行します。

- ① 「プログラム」 ボタン
- ② 「時間設定」 ボタン
- ③ 「START」 ボタン
- ④ 「設定」 ボタン
「設定」画面に
移行します。
- ⑤ 「戻る」 ボタン
「モード選択」画面に
戻ります。
- ⑥ 「音量」 ボタン
「音量」画面に
移行します。



設定画面



① 動作音量：音量調整 0~10

0~10の範囲で音量が増減されます。

② 液晶画面の輝度：明るさ調整 0~10

0~10の範囲で輝度が増減されます。

③ 「メンテナンス」ボタン

「メンテナンス」画面に移行します。

④ 「戻る」ボタン

「モード選択」画面に戻ります。



音量画面



「操作音量」：0~10

「スタート音量」：0~10

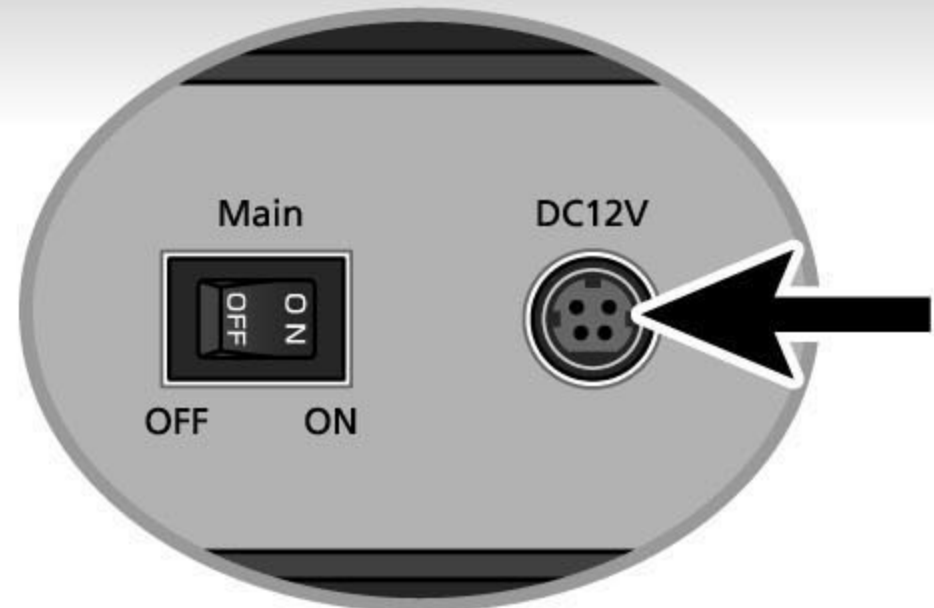
「動作音量」：0~10

「終了音量」：0~10

使用方法

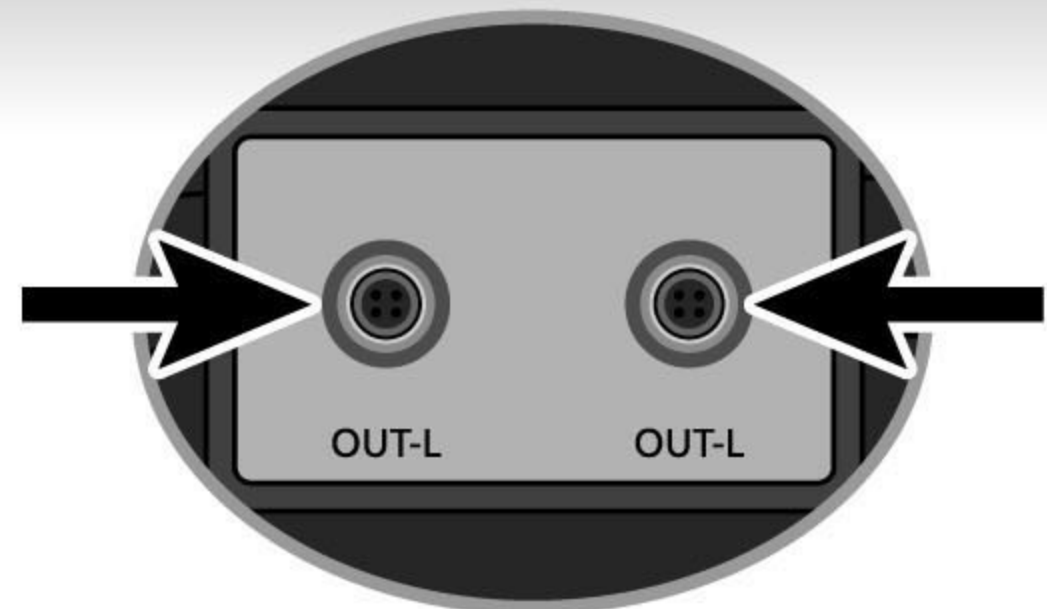
1

本体背面の ⑦ DCジャックに
ACアダプタのコードを接続し、
ACアダプタに接続した
ACケーブルを
コンセントに差し込む



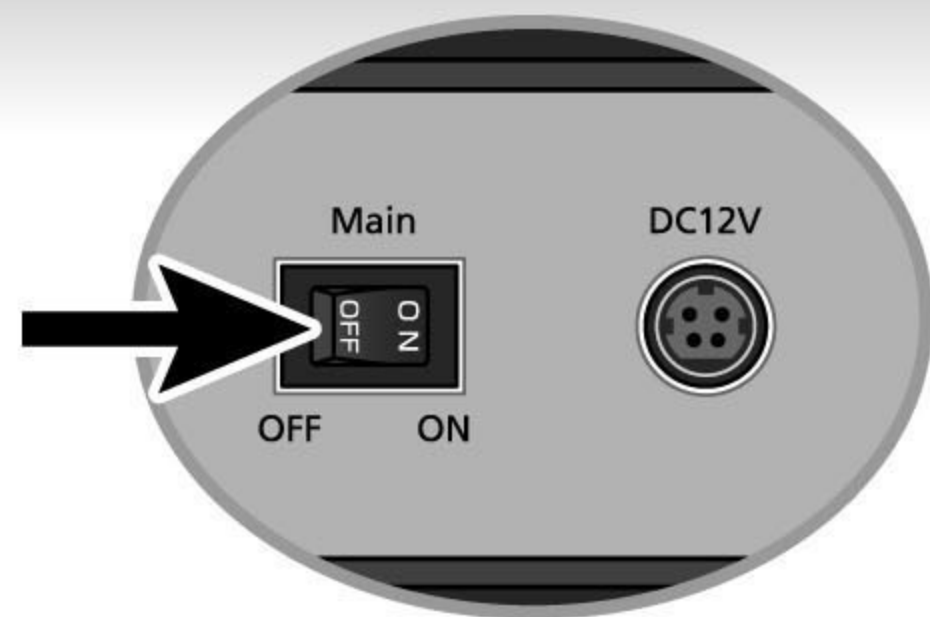
2

導子のコードを、
本体側面(左右)にある
⑤ 低周波導子接続用ジャック
(緑：4芯)に接続する



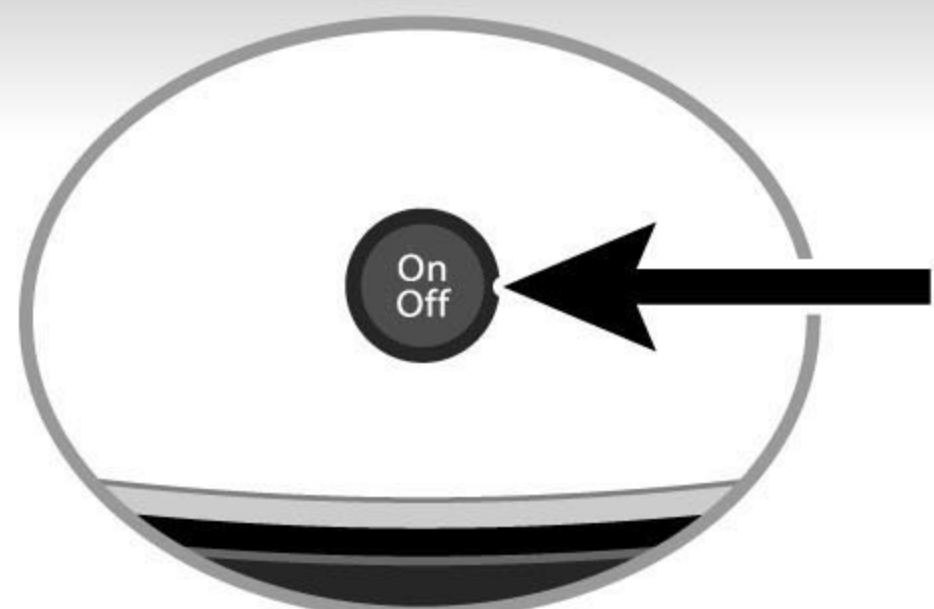
3

本体背面にある
⑥ メインスイッチをONにし、
電源を入れる



4

本体前面にある ① 電源ボタンを
一度押すと電源が入り、
操作画面が表示されます。



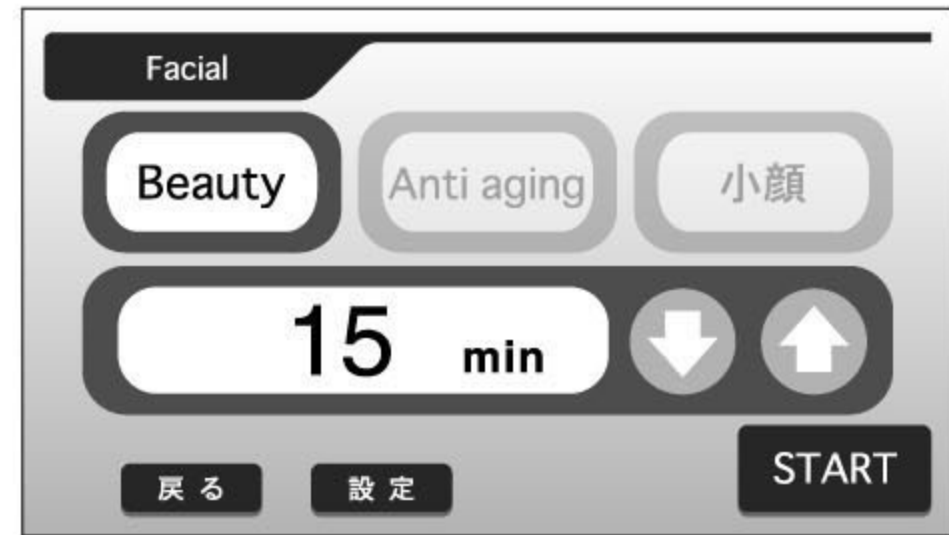
5

6種類から使用するモードを選ぶ

モード選択画面



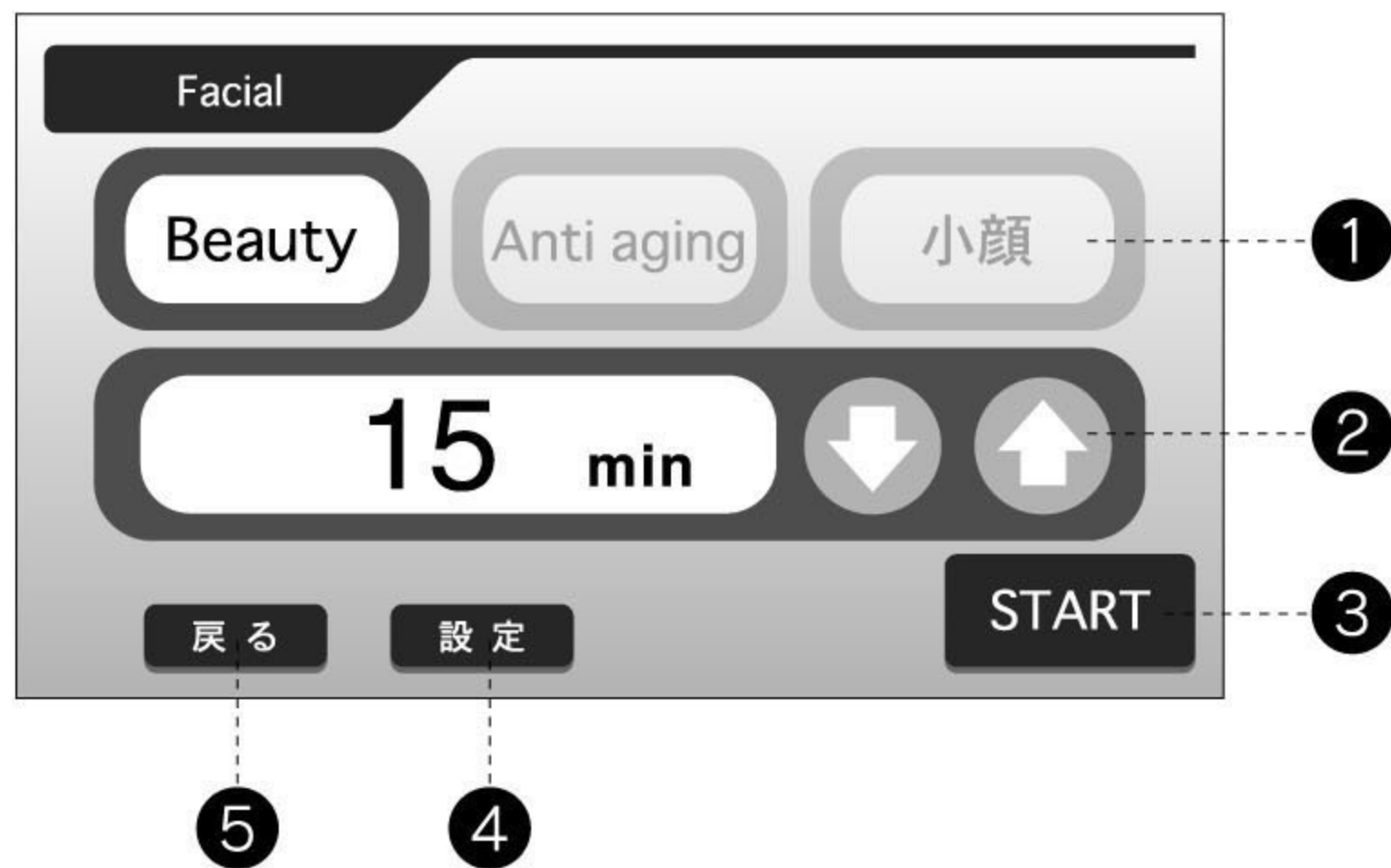
プログラム画面



6

3種類から使用するプログラムを選び、「時間設定」ボタンで時間を設定する。

時間は「変更ボタン」 で変更してください。



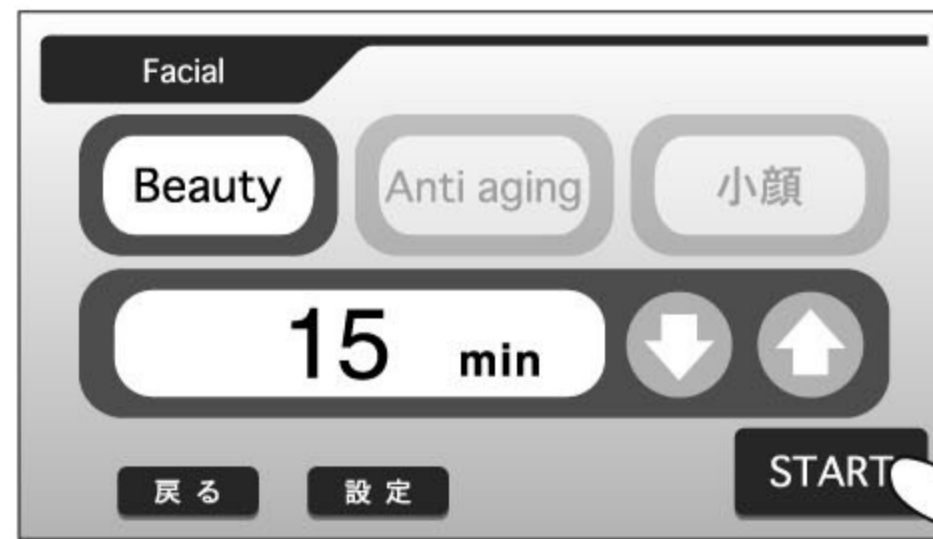
- ① 「プログラム」ボタン ※P16参照
プログラムを切り替えます。
(プログラムは各モード毎に3種類)
- ② 「時間設定」ボタン
1~30min
- ③ 「START」ボタン
- ④ 「設定」ボタン ※P12参照
「設定」画面に移行します。
- ⑤ 「戻る」ボタン
「モード選択」画面に戻ります。



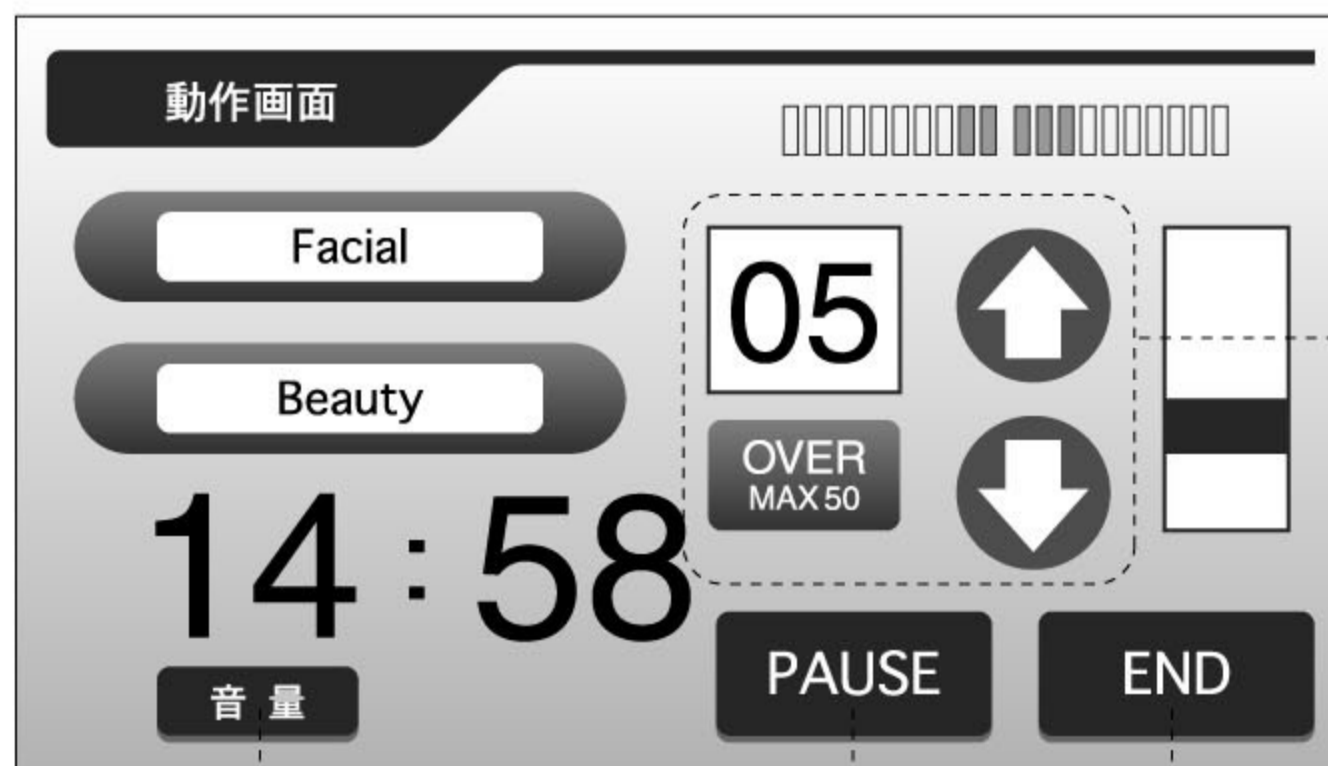
時間の設定値は、プログラムが終了すると(または、ENDボタンを押すと)、初期値の「15min」に戻ります。

7

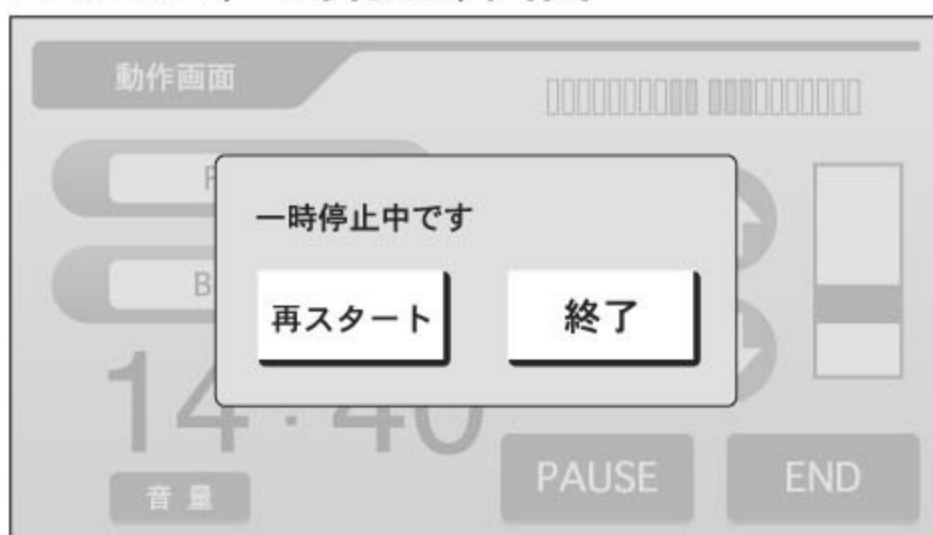
「START」 ボタンを押してプログラムを開始する



スタートすると下記画面に移行します



PAUSE(一時停止)画面



① 「出力設定」 ボタン

「最大出力値の設定」

- 安全の為、出力値の設定は二段階に分けています。標準は 01～15 までです。
- 「OVER MAX50」 ボタンを押すと、最大50まで出力値を上げられます。

② 「PAUSE」 ボタン

プログラムを一時停止します。

③ 「END」 ボタン

プログラムを終了します。

④ 「音量」 ボタン ※P12参照

「音量」画面に移行します。

6種類のモード〔18種類のプログラム〕

- モード : Facial
- プログラム : Beauty・Anti aging・小顔



- モード : Skincare
- プログラム : アトピー・肌質改善・乾燥



- モード : Head
- プログラム : 頭痛・不眠・薄毛



- モード : Body
- プログラム : 慢性痛・急性痛・リンパ



- モード : Diet
- プログラム : Soft・Hard・むくみ



- モード : Another
- プログラム : MP-I・NP-II・Bone



8

プログラムが終了したら

- ① 本体前面にある電源ボタンを一度押して電源を切り
本体背面にある ⑥ メインスイッチをOFFにする

コンセントからACケーブルを抜き

導子のコードを本体側面(左右)にある

- ⑤ 低周波導子接続用ジャック(緑：4芯)から抜く

付属品の名称と機能

ACケーブル(3m)

商用電源AC100VのコンセントとACアダプタを接続します。



ACアダプタ

MPU64-105-M610

AC100VをDC12Vに変換します。

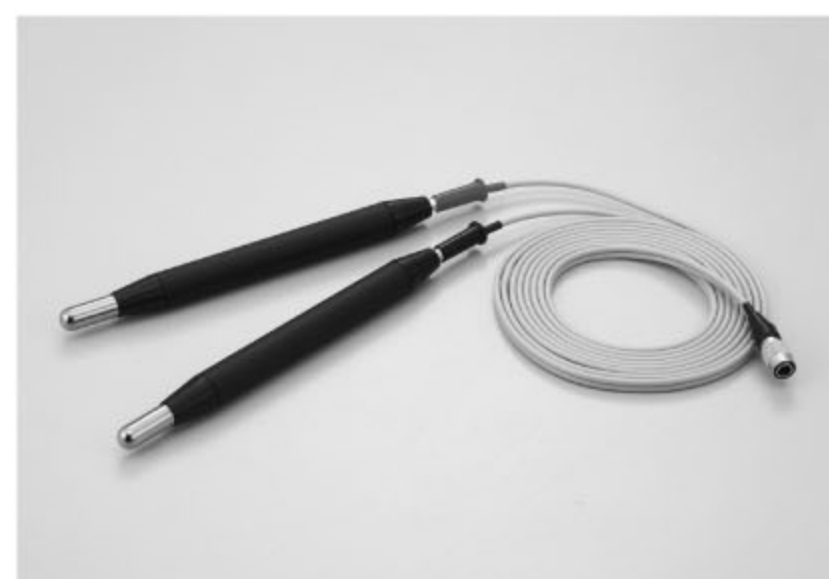
本体背面にある **⑦ DCジャック** に接続してください。



HELIOM オリジナル専用品

ツイングリップ

コード全長：250mm / 分岐部：70mm / 導子：チタン
細かい部位に適し様々な使用用途がある導子で、動かしながら通電します。汚れた状態で使用すると、皮膚の損傷の原因となるためアルコール等を使用して清潔に保ってください。必ず専用のジェルライトを塗って使用してください。



Yグリップ

コード全長：250mm / 導子：チタン
広い面に適し様々な使用用途がある導子で、動かしながら通電します。汚れた状態で使用すると、皮膚の損傷の原因となるためアルコール等を使用して清潔に保ってください。必ず専用のジェルライトを塗って使用してください。



点検事項

- 本器を安全に正しく使用していただくために、下記の保守点検を実施してください。
- 保守点検には、日常点検(使用前)、定期点検(1~2ヶ月毎)、定期保守点検(1年毎)があり、それぞれ点検を行ってください。
- 使用者自ら定期保守点検ができない場合は、弊社が受託することもできます。

1 日常点検

次の項目を使用前に点検してください。

ACアダプタ用ACケーブルと電源コンセントの接続の確認	目視により正しく接続されていることを確認してください。
ACアダプタのコードと本体背面DCジャックとの接続の確認	目視により正しく接続されていることを確認してください。
導子等と本体背面及び側面の低周波導子接続用ジャックコネクタとの接続の確認	目視により正しく接続されていることを確認してください。
作動状態の確認	電源スイッチが『ON』の状態では異常な作動及び表示等が無いことを確認してください。
付属品の破損や汚れの確認	目視によりコード等に破れや変形が無いことを確認してください。

2 定期点検

次の項目を定期的に(1~2ヶ月毎)点検してください。

ACアダプタのコード及びACケーブルの目視確認	ACアダプタのコードに変形や変質等が無いことを目視して確認してください。
ACアダプタのコード及びACケーブルの破損の確認	電源スイッチが『ON』の状態では、電源ケーブルを動かし表示がついたり消えたりしないか確認してください。
導子コード等の確認	目視によりコードに汚れや変形が無いことを確認してください。


3 定期保守点検(1年毎)

- 当社にて定期保守点検を承っております。(有償)
- 定期保守点検項目や定期保守点検のご依頼は当社までお問い合わせください。

4 使用期限満了点検(8年間使用後)

- 使用期限を満了されてからも使用される場合、当社にて性能確認及び内部点検を行います。(有償)
- 状態・使用状況を鑑み、引き続き使用可能な場合のみ延長期間を設定いたします。

故障かなと思ったら！

 機器は分解、改造しないこと

 必ずACケーブルをコンセントから抜くこと

1 電源が入らない

- 本体前面の ① 電源ボタンを1秒以上押してみてください。
- 本体背面の ⑥ メインスイッチがONになっているか確認してください。
- ACアダプタのコードが本体背面の ⑦ DCジャックに確実に接続されているか確認してください。
- ACケーブルがACアダプタに確実に接続されているか確認してください。
- ACケーブルが商用電源AC100Vのコンセントに確実に接続されているか確認してください。

上記項目を全てチェックしていただいても電源が入らない場合は、ACケーブルの不良または本体内部の故障が考えられますので、お買い上げの代理店または巻末の連絡先までご連絡ください。

2 電源が入るのに作動しない場合

この場合は本体内部の故障ですので、お買い上げの代理店または巻末の連絡先までご連絡ください。

3 通電しない場合

- 導子コードと本体の差込が抜けていないかお確かめください。
- 導子コードと導子の差込が抜けていないかお確かめください。
- 導子が汚れていないかお確かめください。
- ジェルライトの使用量が十分かご確認ください。
- 問題ない導子と変えてみても通電しないかご確認ください。

上記項目を全てチェックしていただいても通電しない場合は、本体内部の故障が考えられますので、お買い上げの代理店または巻末の連絡先までご連絡下さい。



故障かなと感じた際は、ただちに

- ① 電源を切る ② ACケーブルを電源から抜く

上記 ① ② の対応を行い、お買い上げの代理店又は巻末の連絡先までご連絡ください。

清掃方法／消毒方法について

※必ずACケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。

1. 身体の油脂分や汚れが導子及び本体に付く事により、肌荒れ等の不具合が生じる恐れがあるので、定期的にアルコール・エタノール等を含ませたガーゼ等で汚れを落とし、水を含ませたガーゼ等できれいに拭き取りいつも清潔にすること。
2. 導子等のコード及びジャック部も同様に、肌荒れ等の不具合が生じる恐れがあるので、定期的にアルコール・エタノール等を含ませたガーゼ等で汚れを落とし、水を含ませたガーゼ等できれいに拭き取ること。

※万一、変色や変形が確認された場合はアルコール・エタノール等のご使用を控え、お買い上げの代理店または巻末の連絡先までご連絡ください。

使用期限について

◎使用期限：8年間

※当該機器の標準的な使用状況と標準的な保守状況の中で、交換部品、捕用品等を交換したり、修理・オーバーホールを繰り返したりしても、その機器の信頼性・安全性が目標値を維持できなくなる予想される耐用寿命。

◎耐用年数：6年間

※固定資産の税務上の減価償却に際し、減価償却費の計算の基礎となる年数です。当該物の直接的、物理的な耐久性とは別物で、あくまでも税を軽減するための減価償却費算出の関数。

廃棄について

1. 本器を廃棄する場合は、地方自治体の規則に従い破棄すること。
2. 賃貸物件(リース)の場合は、賃貸業者の指示に従うこと。



愛知電子工業株式会社

営業本部 〒468-0067 名古屋市天白区池見2丁目88
ショールーム TEL(052)835-0055(代) FAX(052)835-2777
東京営業所 〒136-0071 東京都江東区亀戸2丁目35-4 ソフィア亀戸101
ショールーム TEL(03)5875-5412(代)
九州営業所 〒816-0981 福岡県大野城市若草4丁目3-23
ショールーム TEL(092)589-2275(代) FAX(092)589-2290
サポートセンター／東北・甲信越・関西
メールアドレス／info@aichidenshi.jp

製品の使用方法などのお問い合わせは———

フリーダイヤル：0120-055-180

携帯からは：052-835-0055

月～金 9:30～17:00(年末年始・夏季休業日・祝日を除く)

<http://www.aichidenshi.jp/>